

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2001-358733 (P2001-358733A)  
 【公開日】平成 13 年 12 月 26 日 (2001.12.26)  
 【出願番号】特願 2001-108265 (P2001-108265)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 L 12/40 (2006.01)**

**G 0 6 F 13/12 (2006.01)**

【 F I 】

H 0 4 L 12/40 Z

G 0 6 F 13/12 3 3 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 13 日 (2006.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユニバーサルシリアルバス (U S B) をピアツーピアネットワークとして用いる方法であって、

ルータを備えるホストプロセッサを U S B に接続するステップと、

それぞれ互いに対して、かつ前記ホストプロセッサに対してピアである複数のデバイスを前記 U S B に接続するステップと、

前記複数のデバイスまたは前記ホストプロセッサのうちの 1 つにおいて、メッセージを形成するステップと、

前記メッセージの前にヘッダを付加するステップと、

前記ルータおよび前記 U S B を介して、前記メッセージを前記デバイスのうちの 1 つから他の任意のデバイスに、または前記ホストプロセッサに直接伝送するステップと、を含む、方法。

【請求項 2】

ユニバーサルシリアルバス (U S B) をピアツーピアネットワークを用いるシステムであって、

ホストメッセージハンドラを含み、メッセージの前にヘッダを付加するよう構成され、該ホストメッセージハンドラは、該ヘッダを認識するよう構成された、ホストプロセッサと、

前記ホストプロセッサに連係され、それぞれデバイスメッセージハンドラを含み、前記メッセージの前に前記ヘッダを付加するよう構成された複数のデバイスであって、前記デバイスメッセージハンドラもまた、前記ヘッダを認識するよう構成された、複数のデバイスと、

前記ホストプロセッサに連係された前記複数のデバイスのうちの任意のデバイスと前記ホストプロセッサ間で、ユニバーサルシリアルバス (U S B) を介して前記メッセージを直接ルーティングするよう構成された、前記ホストプロセッサに連係されたルータと、を備える、システム。

【請求項 3】

ユニバーサルシリアルバス (U S B) をピアツーピアネットワークとして用いるための

プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能媒体であって、  
前記プログラムは、  
ルータを備えるホストプロセッサをＵＳＢに接続するステップと、  
それぞれ互いに対して、かつ前記ホストプロセッサに対してピアである複数のデバイスを前記ＵＳＢに接続するステップと、  
前記複数のデバイスのうちの１つにおいて、メッセージを形成するステップと、  
前記メッセージの前にヘッダを付加するステップと、  
前記ルータおよび前記ＵＳＢを介して、前記メッセージを前記デバイスのうちの１つから他の任意のデバイスに、または前記ホストプロセッサに直接伝送するステップと、  
を実現するよう構成されている、コンピュータ読み取り可能媒体。